

## (様式6)

## 公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成16年 5月14日)

事業コード	H16-建-新-6			区 分	国庫補助・県単独
事業名	地方道路交付金事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	歩道等			課 室 班 名	道路環境課 道路環境推進班 (tel) 2488
路線名等	主要地方道 象潟矢島線			担当課長名	虻川 憲悦
箇所名	象潟町横岡			担当者名	大森 郁夫
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	3	施策名	交通安全や地域安全対策の推進	
	目標コード	2	施策目標名	交通安全施設の整備(歩道等整備率)	

## 1. 事業の概要

事業期間	H17~H19(3年)	総事業費	3.0億円	国庫補助率	5.5/10		
事業規模	延長L=1,400m、幅員w=10.5(1.0-6.0-1.0-2.5)						
事業の立案に至る背景	本路線は沿線に上郷小学校の他、公民館分館等の公共施設があり、通学児童等の歩行者が多いにもかかわらず、歩道が未整備であるため、歩行者等は非常に危険な状況にさらされている。このため、平成17年度より歩道の整備を行い、安全かつ快適な歩行空間の確保を図るものである。						
事業目的	交通安全施設の整備により、事故の減少、交通の安全を確保し、交通環境の改善を図る。						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全体	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度以降	
	事業費	300,000	87,000	100,000	113,000		
	経費内訳	工事費	108,600			108,600	
		用補費	174,600	78,600	96,000		
		その他	16,800	8,400	4,000	4,400	
	財源内訳	国庫補助	165,000	47,850	55,000	62,150	
		県債	114,000	33,000	38,000	43,000	
その他							
	一般財源	21,000	6,150	7,000	7,850		
事業内容		詳細設計 用地補償	用地補償	歩道工			
調査経緯							
上位計画での位置付け	総合計画における施策「交通安全や地域安全対策の推進」を支援する事業						
関連プロジェクト等							
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間は近年、事故が多発しており、道路利用者にとって危険な状態にある。 事故件数H9:2件 H11:1件 H12:1件 H13:1件						
事業効果把握の手法	指標名	歩道等整備率		データ等の出典	交通安全施設現況調査		
	指標の種類	成果指標	業績指標				
	指標式	歩道整備済延長/県道路延長					
	目標値 a	40.5%		把握の時期			
	実績値 b	32.7%					
達成率 b/a	80.7%		平成14年3月				

2. 所管課の1次評価

(象潟町横岡 地区)

観 点	評価の内容(特記事項)	評価点
必 要 性	12時間自動車交通量が1,651台で学童・園児数が51人と多く、毎年事故が発生している計画区間前後に歩道があり、歩道の連続性がない。また通学路指定区域であり早急な歩道設置が必要である。	20点
緊 急 性	本路線は、交通安全指定道路になっており交通安全上の重要路線である。毎年、事故が発生している。	10点
有 効 性	事業が実施されることにより歩道が繋がり歩行者の安全性が向上する。	20点
効 率 性	事故状況も過去5年間の事故件数が5件ある。	15点
熟 度	地元住民及び学校PTAより歩道整備への強い要望がある。平成13年12月に小学生が事故死したのがきっかけで1万5千人の歩道設置要望の署名が知事に提出された。	20点
判 定	<p>ランク ( ○ )</p> <p>全観点で高い得点となっており、交通事故を軽減し、生活の安全と地域の振興を図ることでも有効な事業箇所であり、実施すべきと考える。</p>	85点
総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

4. 財政課長意見

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>当該付近には小学校や郵便局があるにもかかわらず、歩道が未整備なことから、交通事故が発生している。このため、歩道を整備するなどして、歩行者の安全を確保しようとするものであること、また、当該区間の前後は既に道路改良済み(歩道整備済み)であることから、事業実施は妥当と考える。</p>	意見内容	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>周辺地区での交通死亡事故を契機に、児童生徒や住民の安全確保のため計画的に歩道整備がなされてきており、この区間以外は整備済みなことからも事業の実施は妥当なものとする。</p>
------	--	------	---

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>事業実施は妥当である。</p>
------	--

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該箇所を国に新規要望する。</li> <li>・事業実施に当たっては、コスト縮減に努める。</li> </ul>
---

7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の評価および対応方針を可とする。</p>
--------------------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 **新規箇所** ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 新 - 6) 箇所名 ( 横岡 )

適用事業名 **特定交通安全施設等整備事業**

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の利用状況				
	12時間自動車交通量	1,000台/日以上	5	5	通学路以外の場合
		1,000台/日未満	0		
		500台/日以上	5		
		500台/日未満	0		
	歩行者交通量	100人/日以上	5	5	通学路の場合
		100人/日未満	0		
		学童・園児 40人/日以上	5		
		学童・園児 40人/日未満	0		
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり	5	5	概ね500m以内
		計画区間前後に歩道なし	0		
	歩行者・自転車交通量	150人台以上	5	0	
150人台未満		0			
道路幅員	車道幅員(路肩含む)5.5m以上	5	5	一方通行の場合3.5m以上	
	車道幅員(路肩含む)5.5m未満	0			
計			25	20	
緊急性	交通安全指定道路	指定あり	10	10	
		指定なし	0		
	計				
有効性	歩行者等の安全性向上	あり	20	20	
		なし	0		
	計				
効率性	事故状況(過去5箇年)	6件以上	25	15	
		1~5件	15		
		なし	0		
	計				
塾 度	地元ニーズ	文書要望あり	20	20	
		口頭要望あり	10		
		要望なし	0		
	計				
合 計			100	85	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	85	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	80点未満		